

令和元年度 北広島市労働事情調査

調査の項目(目次)

1	新規採用状況等について	1
2	正規社員について	2
3	非正規社員について	3
4	休暇制度等について	4
5	従業員雇用状況について	5
6	求人の方法等について	6

【事業所概要】

以下の事項について記入、または選択してください。

事業所名		電話番号	—
所在地	(〒 -) 北広島市	記入者	
事業所形態	① 単独事業所(本市のみの事業所) ② 本社・本店(本社・本店が市内) ③ 支社・支店(支社・支店が市内) ④ 営業所・出張所等(営業所・出張所等が市内)		
主な業種	① 建設業 ② 製造業 ③ 運輸業・郵便業 ④ 卸売・小売業 ⑤ 金融業・保険業 ⑥ 不動産業・物品賃貸業 ⑦ 宿泊業・飲食サービス業 ⑧ 生活関連サービス業・娯楽業 ⑨ 医療・福祉 ⑩ サービス業(他に分類されないもの) ⑪ その他() ※業種が複数の場合は、取引金額が最も多いものを1つ選んでください。		

1 新規採用状況等について

(1) 4月における採用状況(令和元年度採用分)

以下の1または2を選択してください。なお、1を選択した場合は区分毎に内訳人数を記入し、2を選択した場合は該当理由にも○をご記入ください。

1 採用した	2 採用しなかった																																								
↓ ※区分毎の内訳人数を記入してください。	↓ ※複数回答可																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">正規社員</th> <th colspan="2">非正規社員</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 中学卒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 高校卒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 高専卒/短大卒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 大学卒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 上記①～④以外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	正規社員		非正規社員		男	女	男	女	① 中学卒					② 高校卒					③ 高専卒/短大卒					④ 大学卒					⑤ 上記①～④以外					<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① 現状維持のため(先行き不透明)</td> </tr> <tr> <td>② 経営合理化のため(人件費抑制)</td> </tr> <tr> <td>③ 業績不振のため</td> </tr> <tr> <td>④ 経験者を希望のため</td> </tr> <tr> <td>⑤ 募集したが応募がなかったため</td> </tr> <tr> <td>⑥ その他()</td> </tr> </tbody> </table>	① 現状維持のため(先行き不透明)	② 経営合理化のため(人件費抑制)	③ 業績不振のため	④ 経験者を希望のため	⑤ 募集したが応募がなかったため	⑥ その他()
区 分		正規社員		非正規社員																																					
	男	女	男	女																																					
① 中学卒																																									
② 高校卒																																									
③ 高専卒/短大卒																																									
④ 大学卒																																									
⑤ 上記①～④以外																																									
① 現状維持のため(先行き不透明)																																									
② 経営合理化のため(人件費抑制)																																									
③ 業績不振のため																																									
④ 経験者を希望のため																																									
⑤ 募集したが応募がなかったため																																									
⑥ その他()																																									

(2) 自社見学会の開催状況等について

学生を対象とした自社見学会を実施していますか。以下の1～4より選択してください。
 なお、1を選択した場合は開催頻度にも○をご記入ください。

1 実施している	2 実施していないが意向はある	3 実施しておらず予定もない
----------	-----------------	----------------

↓

開催頻度：	①年に1回程度	②月に1回～3回程度	③希望があれば随時実施
	④その他 ()		

(3) インターンシップの受入状況等について

自社でインターンシップの受入を実施していますか。以下1～4より選択してください。
 なお、1を選択した場合は受入時期にも○をご記入ください。

1 実施している	2 実施していないが意向はある	4 実施しておらず予定もない
----------	-----------------	----------------

↓ (複数回答可)

受入時期：	①4月～6月	②7月～9月	③10月～12月	④1月～3月
-------	--------	--------	----------	--------

2 正規社員について

(1) 来年度の正規社員の採用予定について、以下1～3より選択してください。

また、1を選択した場合は、採用予定人数をご記入ください。

1 予定がある	→	新規学卒者	名
2 予定がない		高齢者 (65歳以上)	名
3 わからない		障がい者	名
		外国人	名

(2) 基本給について

次の各年齢に該当する貴事業所の正規社員の基本給 (毎月決まって支給される額) をご記入ください。 (単位：円)

区 分	事務系		技術系		労務系	
	男	女	男	女	男	女
19歳以下						
20～29歳						
30～39歳						
40～49歳						
50～59歳						
60歳以上						

※ 年齢該当者の平均額を記入してください。年齢に該当する方がいない場合は空欄としてください。

注1 基本給＝本給＋職能給＋役付給＋特殊手当などをいう (能率給・時間外・通勤等の各種手当は除く)

注2 事務系＝主として事務、経理、営業に従事する人

注3 技術系＝資格を有する作業、又は技術的訓練を基礎とした作業に従事する人

注4 労務系＝技術をあまり必要としない一般作業に従事する人

(3) 今後の従業員の採用方針について

今後3年程度の正規社員の採用方針を以下1～3より選択してください。

1 増員したい	2 現状維持	3 減員したい
---------	--------	---------

(4) 初任給について

次の区分に該当する貴事業所の正規社員の基本給（毎月決まって支給される額）を

ご記入ください。

（単位：円/1人当たり）

区 分	事務系		技術系		労務系	
	男	女	男	女	男	女
中学卒						
高校卒						
高専・短大卒						
大学卒						

※ 1 新規学卒者の採用(予定)がない場合でも、給与規程等の初任給額を記入してください。

※ 2 基本給のみで、各種手当(時間外手当・通勤手当等)を含めないでください。

3 非正規社員について

(1) 賃金等について

貴事業所で雇用している非正規社員の平均時給等について以下にご記入ください。

雇用種別	区分	平均時給 (円/1時間 当たり)	平均労働 時間 (時間/1日 当たり)	平均労働 日数 (日/1週 当たり)	雇用している社員の在職期間(人)						
					6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	
契約社員・ 嘱託	男										
	女										
パート タイマー	男										
	女										
派遣社員	男										
	女										

※契約社員とは、期間の定めのある労働契約を締結し、職務に従事する労働者をいう。

※嘱託とは、期間の定めのある労働契約の1種で、多くの場合定年退職後の再就職で有期雇用契約を交わした社員をいう。契約社員の多くはフルタイムであるが、嘱託は比較的労働時間が短い場合が多い。

(2) 正規社員への転換制度

非正規社員の正規社員への転換制度の有無について、該当する項目に○をご記入ください。

契約社員・嘱託	【 有り⇒	制度として 明文化している	明文化していないが 慣行としてある	その他】	【 無し】
パートタイマー	【 有り⇒	制度として 明文化している	明文化していないが 慣行としてある	その他】	【 無し】
派遣社員	【 有り⇒	制度として 明文化している	明文化していないが 慣行としてある	その他】	【 無し】

(3) 今後の採用方針

今後3年程度の非正規社員の採用方針について、該当する項目に○をご記入ください。

契約社員・嘱託	【	増員したい	現状維持	減員したい	】
パートタイマー	【	増員したい	現状維持	減員したい	】
派遣社員	【	増員したい	現状維持	減員したい	】

4 休暇制度等について

(1) 育児休業制度・介護休業について

国では平成29年10月の「育児・介護休業法※」の改正により、育児休業、介護休業のより一層の充実を図っており、就業規則等の整備が努力義務となりました。

貴事業所の育児休業、介護休業の規定状況等について、該当する項目に○をご記入ください。

なお「取得状況」については、平成30年4月から令和元年3月までに休業した職員の実人数をご記入ください。

(上記対象期間内に休業した職員の実人数を記入することとし、1人の職員が複数回の休業を取得した場合も「1人」として計上してください。)

正 規 社 員	育 児 休 暇	就業規則等の規定	法律を上回る制度を規定・運用している	・	法律に規定された制度を規定・運用している	・	就業規則に規定していないが法律の規定を遵守している
		休業中の賃金	有給	・	一部有給	・	無給
		取得状況	男性	人	/	女性	人
	介 護 休 暇	就業規則等の規定	法律を上回る制度を規定・運用している	・	法律に規定された制度を規定・運用している	・	就業規則に規定していないが法律の規定を遵守している
		休業中の賃金	有給	・	一部有給	・	無給
		取得状況	男性	人	/	女性	人

非 正 規 社 員	育 児 休 暇	就業規則等の規定	法律を上回る制度を規定・運用している	・	法律に規定された制度を規定・運用している	・	就業規則に規定していないが法律の規定を遵守している
		休業中の賃金	有給	・	一部有給	・	無給
		取得状況	男性	人	/	女性	人
	介 護 休 暇	就業規則等の規定	法律を上回る制度を規定・運用している	・	法律に規定された制度を規定・運用している	・	就業規則に規定していないが法律の規定を遵守している
		休業中の賃金	有給	・	一部有給	・	無給
		取得状況	男性	人	/	女性	人

■育児・介護休業法

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」をいいます。平成29年10月の改正により、子どもが生まれる予定の労働者に育児休業等の制度を知らせることや未就学児を育てながら働く方が子育てしやすいよう、育児に関する目的で利用できる休暇制度を設けることが事業主の努力義務とされています。

(2) ワーク・ライフ・バランスに関する実施制度について

ワーク・ライフ・バランスの取組みについて以下1または2を選択し、1を選択した場合は制度の種類にも○をご記入ください。(複数回答可)

1 制度あり	2 制度なし
--------	--------

① 子の看護制度	② 法定時間外労働の制限	③ 深夜労働の制限	④ 短時間勤務制度
⑤ 所定外労働の免除	⑥ フレックスタイム制	⑦ 時差出勤制度	⑧ 転勤の配慮
⑨ 事業所内保育施設の設置	⑩ 育児・介護サービス費用の助成	⑪ 再雇用制度	
⑫ その他()			

「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事」と、「仕事以外の生活（育児や介護、趣味や学習等）」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。
 北広島市では、男性従業員が育児休業を取得した場合の事業主に対する助成金制度【男性育児休業取得助成金】や、事業主がワーク・ライフ・バランスに関する取組みを実施した場合の助成金制度【ワーク・ライフ・バランス推進事業助成金】を創設しています！詳細は同封したチラシをご覧ください

5 従業員雇用状況について

(1) 雇用形態別・男女別・年齢別で雇用している従業員の内訳人数を記入してください。

区 分		年代別内訳(人)							左記の内数を記入			
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	66歳以上	計	障がい者	外国人	市内在住者
1 正規社員	男											
	女											
計 (正規社員)	男											
	女											
内、R1年度4月以降中途採用した正規社員	男											
	女											

2 非正規社員		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	66歳以上	計	障がい者	外国人	市内在住者
契約社員・嘱託社員	男											
	女											
臨時従業員	男											
	女											
パートタイマー・アルバイト	男											
	女											
季節労働者	男											
	女											
派遣社員	男											
	女											
計 (非正規社員)	男											
	女											
内、R1年度4月以降中途採用した非正規社員	男											
	女											

※外国人技能実習生を受入している事業所は、「契約社員・嘱託社員」欄に計上してください。

(2) 令和元年度中途採用の方がいる場合は採用理由を選択してください。

- ① 新規募集したが応募がなかったため
- ② 定年退職者の退職月に合わせて中途採用したため
- ③ 事業の拡大に合わせて中途採用したため
- ④ 突然の退職者の補充のため
- ⑤ 経験者が必要となったため
- ⑥ その他 ()

6 求人の方法等について

(1) 求人募集等について (回答日現在)

(7) 求人募集の状況について

求人の実施状況について以下1または2を選択し、1を選択した場合は求人方法にも○をご記入ください。(複数回答可)

1 求人を実施している	2 実施していない	→ 6-(2)以降をすべてお答えください
(以下を選択後、6-(1)-(イ)以降をすべてお答えください。)		
① 求人誌への広告掲載 ② ハローワークへの求人登録 ③ 掲示板等への求人ポスターの貼付 ④ 新聞等への求人チラシの折り込み ⑤ 民間求人サイトへの登録 ⑥ 新聞広告掲載 ⑦ 採用専用ホームページの開設 ⑧ その他 ()		

(イ) 求人している雇用形態について

求人している雇用形態について、該当する項目に○をご記入ください。(複数回答可)

① 正社員	② 契約社員	③ パートタイマー	④ その他 ()
-------	--------	-----------	-----------

(ウ) 求めている人材の年代について

貴事業所が求めている人材の年代について、該当する項目に○をご記入ください。(複数回答可)

① 19歳以下	② 20～29歳	③ 30～39歳	④ 40～49歳
⑤ 50～59歳	⑥ 60歳以上	⑦ その他 ()	

(2) 効果のあった求人方法について

効果のあった求人方法について、該当する項目に○をご記入ください。(複数回答可)

① 求人誌への広告掲載	② ハローワークへの求人登録	③ 掲示板等への求人ポスターの貼付
④ 新聞等への求人チラシの折り込み	⑤ 民間求人サイトへの登録	⑥ 新聞広告掲載
⑦ 採用専用ホームページの開設	⑧ その他 ()	

(3) 人材を募集する上での課題について

人材を募集する上での課題について、該当する項目に○をご記入ください。(複数回答可)

① 時給(給与)を上げにくい	② 業務内容的に対象者が限られる	③ 交通の利便性
④ 労働条件(休暇等)の改善	⑤ その他 ()	

(4) 今後の人材不足への対策について

今後の人材不足対策として検討している項目について、該当する項目に○をご記入ください。（複数回答可）

① 機械化の促進	② 従業員待遇（給与、休暇等）の見直し	③ 派遣社員の雇用拡大	
④ パートタイマーの雇用拡大	⑤ 高齢者の採用	⑥ 外国人の採用	⑦ 障がい者の採用
⑧ 福利厚生の実施	⑨ その他（	）	

(5) 北広島市の雇用対策について

(7) 雇用関係施策について

今後本市に要望する雇用関係施策について該当する項目に○をご記入ください。（複数回答可）

① 若年求職者向けの合同企業説明会の開催	② 中高年向けの合同企業説明会の開催
③ 女性向けの合同企業説明会の開催【今年度実施済】	④ 市民等への自社の情報提供
⑤ 社員送迎バス費用の助成	⑥ 市主催の企業見学会の実施【事業実施中】
⑦ 企業見学会を自社で実施した場合の助成金制度	⑧ 市主催の人材育成研修等の開催
⑨ 人材育成研修等を自社で実施した場合の助成金制度	⑩ 市主催の職場実習の実施
⑪ 職場実習を自社で実施した場合の助成金制度	⑫ 市による求人相談窓口の設置
⑬ その他（	）

(4) 雇用関係施策について

北広島市の雇用労働行政について、ご意見をご自由にお書きください。

お忙しいところ、調査にご協力いただきありがとうございました。

お手数ですが本調査票は同封返信用封筒にて **2月12日(水)** までにご返信をお願いいたします。

なお、本調査の結果概要は北広島市ホームページに掲載予定となっております。